

## 大方高校でアイデア発表会

大方高校では、総合的な学習の時間に「自律創造型地域課題解決学習」に取り組んでいます。平成24年度に2年生が取り組んだ地域の課題（ミッシン）についてのアイデア発表会が、12月5日、ミッシン提供者らを招いて同校で行われました。生徒が選んだミッシンは、「みんなが安全に津波から逃げられるアイデアを考えよう」「デニムを使ったオリジナル商品を考えよう！」などの7題。生徒らは、取り組み内容を発表し、町長や高知大学教授らが発表内容やプレゼンを審査しました。



最優秀賞は「地震から生きのびる3日間の防災バックを考えよう！」の2班(写真)。非常持出袋や備蓄品の内容を検討するだけでなく、「震災後の生活で心の負担を減らすには友達が必要」として、緊急時にも友人らと連絡がつくように「緊急連絡カード」の具体案を作成した点が高く評価されました。

## 中村駅でツリー飾ったよ!



高い所はサンタさんに抱っこしてもらいながら飾り付け。きれいに飾られたツリーは、クリスマスまで展示され、駅の利用者を楽しませていました。

12月14日、佐賀保育所の年長組20人が土佐くろしお鉄道中村駅のクリスマスツリーの飾り付けを行いました。子どものころから鉄道に親しんでもらおうと、同鉄道中村・宿毛線運営協議会が企画。児童らは、大方高校生と幡多農業高校生が飾り付けをした「クリスマス列車」に乗って中村駅へ。改札横のみの木に、手づくりの飾りなどを取り付けました。その後、「アンパンマン列車」を見学し、サンタさんから一足早いクリスマスプレゼントをもらってみんな大喜びでした。

## キャンドルナイトinあかつき

12月15・16日の夜、大方あかつき館で「キャンドルナイトin Akatsuki」が行われ、色とりどりのキャンドルが外階段やロビーを幻想的に照らしました。

黒潮町立図書館の主催で、いの町のmowcandle(モーキャンドル)さんがプロデュース。初日は雨で、屋外に展示したキャンドルが消える苦労もありましたが、水たまりに反射するさまも美しく、見る人を魅了しました。

館全体を利用した展示企画は、昨年10月の酒井敦美さんの「光の切り絵」に次いで2回目。今後、館を丸ごと使った楽しいイベントを期待しています。



たくさんのろうそくが灯された大方あかつき館のロビー。2日間で約800人が訪れました。

## 2012大方人權まつり



出合い・感動・絆をテーマに、12月15日、大方人權まつりをふるさと総合センターで行いました。

午前9時、大方中学校吹奏楽部の軽快な演奏から始まりました。

今年の人権作文は、大方地域の小学校6校と大方中学校で取り組みました。全員の声も大きく、『人権感覚』の鋭い作文が多くありました。催し物の部は、歌、踊り、活動紹介などがあり、普段の活動の成果を十分に発揮しました。

午後からは、日浦駿介さんと笑進笑明音楽隊の人権コンサートで楽しみました。一日中、ほんわかとした空気が流れる中での取り組みでした。

並行して行われた展示部門も、図画・書道・人権作文・人権標語と多くの作品が集まりました。

(大方町民館)